(様式第 11 号)

協定書の作成例です。複数枚にわたる場合は、両者の割印が必要です。
地域協議会には写しを提出してください。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金の実施に関する協定書

森林・山村多面的機能発揮対策交付金実施要領（平成 25 年 5 月 16 日 25 林整森第 74 号林野庁長官通知）に基づき、〇〇の森保全の会（以下「保全の会」という。）と森林所有者は、下記のとおり協定を締結する。

記

(目的)

第 1 条 この協定は、地域の森林・山村の多面的機能の発揮のための活動（以下「活動」という。）が円滑に実施できるよう、その内容等について定めることを目的とする。

(協定期間)

第 2 条 地域共同による活動の協定期間は、協定締結の日から平成〇年〇月〇日までとする。

少なくとも 3 年計画の年度末までを協定期間とする

(協定の対象となる森林)

第 3 条 協定の対象となる森林は、下記のとおりとする。

所在地 京都府〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇 住所を具体的に記載

面積 〇〇.〇ha 面積を記載

計画図 別紙のとおりとする。

地番まで記載する。「〇〇他」とせず、全ての箇所を記載する。

書ききれない場合は、別紙に全て記載し「〇〇番地他別紙のとおり。」としてください。

(活動計画)

第 4 条 保全の会が行う活動は、別紙の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る活動計画書」の 7 に定めるとおりとする。

(その他)

第 5 条 この協定に定めのない事項、又は疑義が生じた場合には、保全の会と森林所有者が協議をして定めるものとする。

上記協定の締結を証するため、保全の会と森林所有者は、本書を作成し、記名押印の上、それぞれ 1 通を保有するものとする。

平成〇年〇月〇日

〇〇の森保全の会

住所 京都府〇〇市〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印

代表者役職・代表者名・印

森林所有者 複数の森林所有者と協定を結ぶ場合、森林所有者それぞれと個別に協定を結んでもよい。

住所 京都府〇〇市〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印（法人の場合は代表者役職名と代表者印）

住所 京都府〇〇市〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印

住所 〇〇県〇〇町〇〇〇〇 〇〇-〇

〇〇 〇〇 印